

全佐渡納税貯蓄組合連合会長賞

今、私達が大きく関われる税

佐渡市立相川中学校 3年 野澤 結鈴

中学生の私達が大きく関わることの出来る税は消費税です。欲しい物を買う時に絶対に消費税を払っていますが、こんなにも日常にあるのに知っていることが少ないです。消費税について自分の体験と調べたことを作文にしました。

小さい時におつかいを頼まれた時、お店にある値札を見て小さいながらも計算してレジに持っていったのですが、値段が合いませんでした。当時は何故だろうと思っていましたが、今は分かります。消費税を入れていなかったからです。そもそも存在も知りませんでした。

中学生になり、消費税の存在はあたり前に知っています。ですが、なんのためにあるかは知りませんでした。調べてみると消費税とは商品の販売やサービスの提供などの取引に対して課税される税である。日本国では、1989年の消費税法で導入され、事業者が事業として対価を得て行う資産の譲渡、資産の貸付け及び役務の提供、商品の販売や運送、広告など対価を得て行う国内の取引のほとんどは課税の対象となり、海外からの商品を輸入する場合でも課税されるものであると分かりました。

では、どのような場面で使われているか調べてみると、年金、医療、介護、子育て支援などに使われており、日本を支えている事が分かりました。特に医療関係にお金の支援をしているのが、コロナ過の今ひっばくしている医療にとって、とても必要で大切なものだと感じました。

私はこの作文を書くまで消費税について調べたことが無く、知りませんでした。ですが、今回調べてみて、消費税を払い、国に納めることで支えているものがあると分かり、とても良いことをしている気分になりました。大人になるにつれ、ほかの税とも関わってくると思います。税に対し、ちゃんとした意味を理解できるようこれからも目を向けてすごしていきたいです。